

神奈川県民協議会だより



区の木：こぶし

No. 16

編集・発行 神奈川県民協議会
事務局 神奈川県役所区政推進課内
神奈川県広台太田町3-8
電話：411-7021
Fax：314-8890



第17期神奈川県民協議会は、「人を育て、人を守る みんなの輪」をテーマに活動を続けています。部会活動、「地域のつどい」、そのほかの活動についてお知らせします。(神奈川県民協議会は略称を区民協としています。)

<http://kanagawakumin.bakufu.org>

平成25年度 区民のつどい開催

区民協議会の活動の大きな柱である今回のつどいは、地域の皆様からいただいたヒントを元に設定した、第17期(1期2年)の部会活動の中間発表を中心に、区民協議会の仕組みや全体的な活動、「地域のつどい」の様子などを分かりやすく紹介します。多くの区民の皆様のご参加をお待ちしています。

当日、区内産の野菜の
販売もあります。
購入を希望される方は、
エコバッグなどを
ご持参ください。

第一部 人を育て、人を守る みんなの輪
～ 神奈川県民協議会の活動中間発表 ～

第二部 減災の第一歩は被災想定を正しく知ることから
～ 講演～ 区民協議会委員 島田 恵氏



▲日時 6月29日(土) 午後1時30分～4時(午後1時開場)

▲場所 神奈川公会堂

▲定員 400名(手話通訳付き)・・・参加される方は、当日直接会場へお越しください。

▲一時保育をご希望の場合は事務局への事前のご予約が必要です。

第17期代表委員あいさつ



日頃より区民協議会の運営、活動についてご協力いただきありがとうございます。昨年7月にスタートをした第17期も早1年を過ぎようとしており、その間、毎月開催される運営委員会、4部会ある各部会の活動を始めとして諸活動に携わってまいりましたが、メンバーの情熱ある積極的な行動に支えられ、代表としての務めを果たしてまいりました。

区民協活動の中でも「地域のつどい」は、地域の皆さまからのお困りごとのご意見を伺い、それを集約し活動テーマに生かしていくという大切な場。今期に入って3つの連合地区にお願いをしたところ、

無事開催することができただけでなく、それぞれの地区で貴重なご意見をいただいて、大いに刺激を受けて活動意欲を増すことができました。紙面をお借りし、開催にご尽力いただきました各地区の会長様始め地区の皆さまに感謝を申し上げます。

6月には、部会活動の中間発表の機会となります「区民のつどい」が控えており、現在その準備でメンバーは日夜努力しているところでございます。

今後も、区民の皆さまに区民協活動を広く知っていただくための広報活動を強化しながら、活動内容が区民の皆さまの目に見えるよう努力してまいりますので、関係機関の更なるご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

第17期 神奈川県民協議会 代表委員 澤 兼一郎

～エコ活民を育てる～

ちょっとエコDo部会

ちょっとエコDo部会は、身近なエコ活動をテーマに活動しています。

限りある資源。このまま、無駄に浪費を続けては、近いうちに地球資源は枯渇し、次の世代に何も残せなくなってしまう。

横浜市では、環境モデル都市として、「Yokohamaエコ活。」をスローガンに取り組むCO₂排出量削減や、ごみを減らすヨコハマ3R夢（スリム）プランなど、環境意識を高めるためのキャンペーンを積極的に進めています。

また、電気・ガスなどの公共のインフラ企業も、環境の教育施設、教育プログラム、パンフレットなど、環境活動を啓発するために素晴らしいコンテンツをたくさん用意しています。

もしかしたら、多くの方がエコを意識しているかもしれませんが、意識はあっても、何かを我慢してまで、エコ活動を継続するのは難しいものです。

本部会では、ヨコハマ3R夢（スリム）プランなど、現在の行政の施策に注目し、課題になっている点、改善したほうが良い点などを調査・検討しています。

今後は、アンケートや施設訪問、ヒアリングなどを通じて、行政で実施しているエコ活動の区民への浸透の仕方内容などについても提案できるように、活動していきたいと思っております。



～地域活動の担い手を育成する～

つなぐ会

つなぐ会は、今すぐバトンタッチ出来る地域の活動の担い手を、地域の中から発見し、活動を共に（＝協働）する中で育成することをテーマとしています。

提案と提言

自治会町内会長の活動に焦点を絞り、自治会町内会長の活動内容を調査分析し、部会委員の中の町内会長の活動内容を一例として取り上げ、地域性を重視しながら、地域の活動の方向性を理解します。

具体的には出来るだけ多くの自治会町内会長の皆さまにアンケートやお話を伺うなどをして、活動内容の詳細を調査解析し、自治会町内会のこれからの活動の担い手育成の具体策を提案します。

区民協議会が行っている「区民のつどい」「地域のつどい」を通じて、地域住民の「現場感覚」を重視しながら、自助、共助、公助の仕分を明確にすること。これにより来たるべき高齢化社会に於いて、次世代に負担を掛けなくて困難な時代を乗り切るために何を準備したらよいか、を今から少しずつ考えていくことの必要性を提言します。

第17期の後半活動は、6月29日の「区民のつどい」を経て、提案と提言事項に沿って活動して行きます。



～つなげよう 一人ひとりの減災の知恵～

なまずの会

第16期のなまずの会は、地域防災拠点について調査検討提言をしました。

その際に各自治会町内会で災害時にどのように行動するべきかを提言してほしいという声をいただきました。これを受け、第17期は、自治会町内会における災害時の共助の仕方や、さらに一番大事な自助のあり方についても調査検討していくことになりました。

まずは共助からとりかかるとし、各自治会町内会の防災・減災に対する現状および問題点や課題を調査することにしました。そこで神奈川区184の全自治会町内会長の皆さまに、本年2月にアンケートをお願いいたしました。

アンケートは、①震災時の役割分担に関するもの、②被害想定に関するもの、③防災訓練に関するもの、④備蓄に関するもの、⑤災害時要援護者対策に関するもの、⑥自助共助に関するもの、⑦その他という項目で構成されています。それぞれに設問がいくつかあり、集計をとるとある程度の全体像が見えてきます。また、注目すべき点もあり、興味深い結果となりました。ご協力いただいた自治会町内会長の皆さまに御礼申し上げます。

今回のアンケートにより見えてきたことを今後調査検討し、次年度の提言につなげていきたいと思っております。なお、このアンケート集計結果詳細は「区民のつどい」にて発表させていただきます。



～それぞれのまちのいい所、掘りおこそう、広げよう～

防犯の会

神奈川区連合町内会自治会連絡協議会は、21の連合体で組織されています。その連合体の中から25年3月に大口七島地区、白幡地区の皆さまのご厚意をいただき、長い伝統に培われました安心・安全活動に関する交流会・研修会の機会をいただきました。

交流会でいただきました有益な情報を体系的に分析して、「防犯の会の目指すこと」にまとめ、最終的な提言に結びつけようと活動中です。

- ・ 第1回交流研修会
平成25年3月12日(火) 19時～21時
大口第2親和会館
連合会長・代表委員ほか21名出席
- ・ 第2回交流研修会
平成25年3月15日(金) 19時～21時
白幡向町会館
連合会長・代表委員ほか27名出席
- ・ 第3回交流研修会
平成25年3月23日(土) 12時～14時
白幡地区の見学・・・安全の「高札システム」、掲示板、自転車置き場、区境など
平成25年3月23日(土) 14時30分～16時
大口七島、松見、神之木西寺尾三地区合同防犯パトロールに参加した後、大口七島地区の見学



当部会には多くの地区の防犯部員、防犯指導員が所属しており、それぞれが持っている様々な関連機関とのつながりを生かした防犯情報の交換、地域への広げ方を探っています。

「地域のつどい」でいただいたご意見の中から、次期の部会活動のテーマを決定します。
今年、以下の3地区で、「地域のつどい」が開催されました。

第1回：神大寺地区（平成25年2月16日、神大寺地区センター、参加者69名）

神大寺地区は神奈川区のほぼ中央にあります。9自治会町内会で構成されており、団地等も複数ある住宅地で小学校も3校あります。JA横浜があり、地元農家の採れたて新鮮野菜が毎日直売されています。当日参加の皆さまのご意見は、

- ①ごみ集積場所が急に撤去された場合の対処法
- ②団地のごみ集積場所への不法投棄
- ③傾聴ボランティアに関すること
- ④私道階段への手すりの取り付け
- ⑤土地の利用法が変わったことによる通学路の問題
- ⑥野良猫への餌やり問題
- ⑦自治会町内会未加入世帯の問題



などたくさんありました。神大寺地区の皆さま、ありがとうございました。

第2回：青木第二地区（平成25年2月18日、神奈川韓国会館、参加者74名）

青木第二地区は、横浜駅西口より県道環状1号線を挟むようにして2町会があり、旧東急東横線の高島山トンネルを通して反町に出ると、駅周辺には4自治会町内会が存在する商業住宅地です。参加者から出された意見は、

- ①抜け道に使われている道路の問題
- ②通学路の安全確保の問題
- ③通勤通学の確信犯的違法駐輪の問題
- ④視界を妨げる掲示物が改善・報告されない問題
- ⑤川への転落防止対策について
- ⑥空地の雑草管理の問題
- ⑦東横フラワー緑道の自転車通行に関する問題



など、土地柄を反映した問題が多くありました。また、熱心な地域活動の報告も行われ、有意義なつどいとなりました。青木第二地区の皆さま、ありがとうございました。

第3回：菅田地区（平成25年3月3日、菅田東町自治会館、参加者71名）

菅田地区は、神奈川区北西部に位置し、港北区と緑区、保土ヶ谷区に隣接しています。また、区内最大の面積を有し、10自治会があります。近年市街化が進んできていますが、神奈川区の中では農業が盛んで、キャベツ畑などが広がり、緑あふれる地域でもあります。さらに、富士塚や道祖神など歴史的なものも点在しています。

当日の参加者からは、災害時の対応（広域避難場所、液状化、土砂崩れ、津波被災者受け入れ、防災マニュアル等）や高齢化に伴う自治会運営の難しさ（空家、人手不足、孤独死等）、区境の問題など多岐にわたるご意見をいただきました。また、試行運行されている市営バス2路線へのさらなる利用呼びかけや交通局への要請にも力を入れ、本運行に向けて足の確保に努めていることが報告されました。



菅田地区の皆さま、ありがとうございました。

区民まつりに4度目の出展

神奈川県「区民まつり」は、平成24年10月7日に盛大に開催され、区民協として4度目の出展をしました。今回は第17期1年目で、メンバーの顔ぶれも変わりましたが、経験者を中心に事前検討と準備を進めました。当日は雨が昼過ぎまで続いて催し物の中止も相次ぎ、午前中は盛り上がりには欠けましたが、我々の熱意が通じたのか午後からは雨が止み、盛況な「区民まつり」となりました。

広報活動は区民協のPRと売り上げ向上を目的とした「注文票」を、「PR冊子」と一緒に出展団体に配布し、初の試みとしてはうまくいったのではないかと思います。

また、食品販売は、フランクフルト325本、ホットドッグ257食を売り上げることができましたが、午前中の雨の影響が大きかったのか売れ残りが出てしまいました。

雨に濡れながらの準備、PR、食品販売で苦労が多い一日でしたが、当日参加した24人の実行委員全員が力と心を合わせてPRと販売ができたことで、第17期1年目のメンバーの絆が深まった一日となりました。



区長との懇談会開催

平成24年11月6日に区役所内で区長との懇談会が開催されました。昨年4月に区長が着任されてから、第17期区民協議会運営委員との初顔合わせとなりました。区役所からは、区長をはじめ、副区長、総務課長、地域振興課長、区政推進課長、地域振興課担当係長、総務課危機管理担当係長、区政推進課企画調整係長等のご参加をいただき、区民協議会からは、正副代表委員、各部会正副部会長等が参加しました。

第17期は7月末に総会があり、部会活動を始めたのが8月からであったので、活動報告ではなく部会の目指すところ、今後の方向性について5分程度ずつ説明をし、その後懇談をしました。区長は大変熱心に耳を傾け、それぞれの部会に対して暖かい応援の言葉をかけてくださいました。また、部会からの質問に対しても真摯にご回答くださり、部会活動の充実につながる良い機会となりました。区民協議会は、今後も行政と区民とをつなぐパイプ役となれるような活動をしていきます。



第38回区民会議交流会への参加

平成24年11月30日に区民会議交流会が波止場会館にて開催され、神奈川県区民協議会も参加しました。今年は「自分たちのまちは自分たちでつくろう」をテーマに、現在、区民会議として活動している4区（神奈川県、保土ヶ谷区、港北区、青葉区）と、今は区から離れて活動している5区（港南区、金沢区、緑区、中区、旭区）の計9区が参加しました。

第1部は、活動報告を行いました。神奈川県は、島田委員より「いざという時に機能する防災拠点とは...」というテーマで、防災に関する学習や調査、被災地の視察を通しての活動内容を発表しました。第2部は、意見交換を行いました。

神奈川県の発表を受けて、災害時の区境の問題や津波や液状化被害に対する備蓄庫の適正な設置場所の問題、地域での防災訓練の重要性など、多くのご意見をいただきました。

いただいたご意見や他区の取り組み事例などを参考にし、今後も活動を続けていきたいと思っております。



24年度施設見学会報告

区民協議会では、国、自治体、民間における様々な事業の一端を知り部会の活動の参考にしようと、年一回施設見学会を開催しています。

今回の見学会は、平成25年1月8日に20名の参加で開催され、横須賀市にある独立行政法人海洋研究開発機構の本部と、横須賀市民防災センター「あんしんかん」の2か所を見学しました。

海洋研究開発機構では、世界の深海調査研究の重要な役割を果たしている有人潜水調査船の実物大模型を中心に、船舶の模型、および無人探査機（ロボット）を見学しました。横須賀市民防災センター「あんしんかん」では、災害に対する心得を学び、震度6の地震時での対応方法・消火器の使い方・煙る通路での避難等の体験をして、それをビデオでチェックしました。

海洋研究開発機構の見学では、深海研究の設備および研究内容等、「あんしんかん」では、災害時の体験、その対処方法および災害に備え普段から行っていくべきこと等を学ぶことができました。海中深くに設置された地震計や様々な免震構造の方法を見学することにより、世界においても進んでいる日本の防災技術の一端を垣間見ることができ、有意義な施設見学会になりました。



南三陸町への支援金ご協力のお礼

「区民のつどい」で皆さまからお預かりした募金を南三陸町町長にお渡しするため、平成24年10月29日（月）・30日（火）と南三陸町に行ってまいりました。平成24年6月30日に神奈川公会堂で開催された「区民のつどい」では、機能する防災拠点調査の一環として南三陸町を数回訪問した島田委員が「南三陸町訪問に学ぶ～神奈川区でも起こりえる事象とは」と題し講演をしました。



「佐藤 仁 町長と」

その際に南三陸町向けの募金をお願いし、202,492円もの皆さまからの善意をいただきました。南三陸町と相談し、「義援金」とすると被災した方全員に均一に配布されることになり、それではあまりに小額となりますので、町の復興に役立てる「災害寄附金」とさせていただきました。

区民の皆さまの心のこもった募金を確かにお渡しした報告をさせていただき、皆さまの善意にあらためて心より御礼申し上げます。

編集後記

- ・「こぶし16号」をお届けします。第17期神奈川区民協議会は、澤新代表のもと、6月29日の「区民のつどい」に向かって活動をしています。応援をお願いします。（H.S.）
- ・人との出会い、新しい経験、新知識の吸収等々を楽しみながら活動できることは幸せです。（T.A.）
- ・広報委員会活動に参加して、言葉の使い方、使い方の勉強になりました。（K.I.）
- ・プチ入院で関係各位に迷惑をお掛けしました。災害に自助、共助が大切です。食糧・水の備蓄も大切ですが一番は自身の健康と再確認しました。要援護者や足手まといにならないよう健康の備蓄を？・・・（T.K.）
- ・毎度、みんなのエネルギーには驚かされます。（T.S.）
- ・南三陸町町長が「この前来た時より随分良くなったでしょう！」と明るい顔。その一方で復興に向け、どれだけ膨大な申請書を作るかのご苦労を語る顔はやや辛そう。民も行政もみんな苦しんでいるのが現状。これが震災。（M.S.）
- ・初参加の区民協。今後の地域活動に役立てたいと思います。（S.H.）
- ・区民協の活動を通じて、今まで知らなかった「地域の力」を学ぶことができました。（T.M.）
- ・第16期は初めてのため余裕なく過ぎましたが、今期は多少楽しみながら活動が出来そうです。（H.T.）
- ・この紙面をお読みいただき、少しでも区民協の活動を身近に感じていただけましたら、とても嬉しく思います。（M.U.）